

交付金事業番号	事業通し番号	加速化交付金事業	事業名	内容	総合戦略への位置づけ	事業実績	関連する重要業績指標 (KPI)					評価	今後の方針	今後の方針の理由	部	所属
							指標	指標の出典	取組前(基準値) H26	目標値	実績値 (H28)					
1	13 27	★	ダイバーシティ・マネジメント推進事業	多様な人材が活躍できる職場づくりに取り組む事業所を支援するため、事業者向けセミナー開催やアドバイザー派遣を行うとともに、女性活躍推進のための環境整備に要した経費の一部を助成する。また、ダイバーシティ・マネジメントに取り組む事業者がUターン促進のために大都市圏で開催される企業説明会へ参加する経費の一部を助成する。	基本目標1 ③就労しやすい環境づくりを進める	事業所アンケート実施(76/151社回収)、企業向けセミナー開催(112名参加)、アドバイザー派遣(5社)、中小企業女性活躍促進事業費補助金交付(2社)	アドバイザー派遣制度を利用した市内事業所等の数	実測値	0社	5社	5社	A	追加等更に発展させる	アドバイザー派遣は複数のメニューから選択する方式とし、事業所が利用しやすいよう工夫し、事業展開する。	市民経済部	商工観光課
2	14	★	多様な進路選択支援事業	性別にとらわれない、個人の能力・適性に合った進路選択・職業選択の支援を目的に、女性技術者・女性研究者等によるセミナー等、女子学生を対象に理工系のロールモデルに接する機会を設ける。製造業にも女性活躍の場があることを伝え、市内の製造業が就職先の候補にあがることを目指す。	基本目標1 ③就労しやすい環境づくりを進める	高校生向けセミナー開催(学生18名・保護者14名参加)							事業の継続	性別にとらわれない、個人の能力・適性に合った進路選択・職業選択を支援するため、H28年度参加者のアンケート結果を反映し、充実した内容にする。	市民経済部	商工観光課
3	15	★	女性の再就職応援事業	就労を希望する女性への支援及び潜在的労働力の掘り起しを目的に、キャリアカウンセリング・職業教育・企業とのマッチングを託児サービスと連携して行う。また、上記職業教育修了者の採用のインセンティブとして、企業へ奨励金を交付する。	基本目標1 ③就労しやすい環境づくりを進める	女性対象のセミナー・企業見学会・面接会の開催							追加等更に発展させる	就労を希望する女性への支援及び潜在的労働力をさらに掘り起こすため、H28年度参加者の意見を反映し、新たな事業を追加する。	市民経済部	商工観光課
4	44	★	母子保健相談事業	安心して出産できる環境整備のため、妊娠中から就学前までの子どもを持つ母等に対し、栄養や日常生活の相談や支援を行う。また、外国人母等にも同様のサービスを提供するために外国語版資料を作成したり通訳を配置する。	基本目標3 ①結婚・出産のための支援の充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>母子手帳交付：418冊</li> <li>妊婦講座受講者数：232人</li> <li>育児相談延人数：520人</li> <li>お母さん教室参加者数：61名</li> <li>離乳食教室参加者数：190名</li> <li>すくすく育児教室参加者数：240名</li> <li>外国語版の母子手帳発行数</li> <li>ポルトガル語：13件、スペイン語：5件、英語：1件、タガログ語：2件</li> <li>通訳配置(1歳6か月健診、3歳児健診、離乳食教室、訪問、ちびっこ相談、2歳親子教室)：57回</li> </ul>	妊婦講座の受講者数	実測値	136人	170人	232人	A	事業の継続	安全な出産のため、妊娠期からの健康づくりについて周知する必要があり、事業を継続する。	健康福祉部	健康増進課
5	51 (1)	★	幼児健診・指導事業	1歳6か月児、3歳児に対し総合的な健診を行うとともに、2歳児とその保護者に対し歯科健診と保健指導を実施することにより、適切な保護者の開わりができるよう相談や療育教室を実施し、育児支援を行う。	基本目標3 ②子育て世帯への支援の充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>1歳6か月児健診：466人</li> <li>3歳児健診：495人</li> <li>2歳児親子教室参加者：402人</li> <li>フック物塗布：389人</li> <li>2歳児保護者歯周病検診：394人</li> </ul>							事業の継続	発達の内容での健診であり、児の成長発達を確認するため、事業を継続する。	健康福祉部	健康増進課
6	51 (2)	★	幼児健診・指導事業	1歳6か月児、3歳児に対し総合的な健診を行うとともに、2歳児とその保護者に対し歯科健診と保健指導を実施することにより、適切な保護者の開わりができるよう相談や療育教室を実施し、育児支援を行う。	基本目標3 ②子育て世帯への支援の充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>ちびっこ教室：82人(延人員)</li> <li>ちびっこ相談：85人(延人員)</li> <li>ことばの相談：19人(延人員)</li> </ul>							事業の継続	対象児の発達に応じた個別の開わりについて保護者へ助言し、児の成長を促すため、事業を継続する。	健康福祉部	健康増進課

交付金事業番号	事業通し番号	加速化交付金事業	事業名	内容	総合戦略への位置づけ	事業実績	関連する重要業績指標 (KPI)					評価	今後の方針	今後の方針の理由	部	所属						
							指標	指標の典拠	取組前(基準値) H26	目標値	実績値 (H28)											
7	45	★	子育て支援ガイドの作成事業	子育てに関する総合的な情報の提供を充実し、地域での取組や活動が十分周知されるよう子育て支援ガイドを作成し、配布する。	基本目標3 ②子育て世帯への支援の充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>様式：A5版全48頁</li> <li>発行数：10,000冊 (H27度作成)</li> <li>配布：18歳未満のいる児童世帯5,751 関係機関等720部</li> </ul>	一時預かり延べ利用者数	実測値	1,073人	1,200人	1,484人	A	予定通り事業終了	今後は各種関係機関団体の医師、民生委員・児童委員、教職員等への配布、親子講座イベントにおける説明配布の拡大により更なる事業周知徹底を図る。	健康福祉部	子育て支援課						
8	47	★	子育て支援広場運営事業	就学前の子どもを持つ親子の交流、遊びの場の提供、子育てに関する情報の提供、相談などを行うため、子育て支援センター（のびりん）、西部公民館の子育て支援広場を運営する。	基本目標3 ②子育て世帯への支援の充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間開館日数：303日</li> <li>総来館者数：22,293人</li> <li>子育て支援事業の実施：わくわく広場、もぐもぐタイム年4回、たまごちゃん広場月4回</li> <li>各種イベントの実施：のびりん祭（5月）、季節の行事（七夕、ハロウィン、クリスマス会、節分）</li> <li>子育て相談（随時）</li> <li>子育て支援広場（西部公民館）</li> </ul>							事業の継続	今後更なる利用の必要性が高まると考えられるため、事業を継続する。	健康福祉部	子育て支援課						
9	48	★	子育て支援活動事業	子育てを支援するための交流や居場所の提供等の活動を自主的に行う団体に活動費の一部を補助する。	基本目標3 ②子育て世帯への支援の充実を図る	子育て支援事業活動支援補助金交付：5団体							事業の継続	今後更なる利用の必要性が高まると考えられるため、事業を継続する。	健康福祉部	子育て支援課						
10	49	★	のびのび預かり事業	通院、買い物、参観会、リフレッシュ等の時間が作れない保護者の育児を支援するため、児童の一時預かり事業を行う。	基本目標3 ②子育て世帯への支援の充実を図る	保育士により2歳から就学前の児童を対象として一時預かり保育を実施。 <ul style="list-style-type: none"> <li>開設日等：毎週水、木、金曜日 9:00～12:00</li> <li>場所：子育て支援センター、健康福祉センター</li> <li>定員：各12人</li> <li>開催日数：204日</li> <li>年間利用者数：1,484人</li> </ul>							事業の継続	今後更なる利用の必要性が高まると考えられるため、事業を継続する。	健康福祉部	子育て支援課						
11	59	★	児童発達支援事業	発達障害のある子どもの早期療育を目的として、身近な地域の施設で通所利用することにより、集団生活に必要な能力を身に付け、社会生活への適応のために必要な支援を行う。	基本目標3 ②子育て世帯への支援の充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>小集団による療育</li> <li>就園前：つくしんぼ教室（毎週火・木曜日）</li> <li>就園児：かるがも教室（隔週金曜日）</li> <li>心理士による発達相談</li> <li>保護者への育児支援</li> <li>母親セミナーの実施（年3回）</li> </ul> 通園者数：つくしんぼ教室：21組・43人 442組 かるがも教室：11組・22人 149組 延591組							事業の継続	今後更なる利用の必要性が高まると考えられるため、事業を継続する。	健康福祉部	子育て支援課						
12	65	★	子育て相談事業	民間保育園等において、地域の子育て家庭に対する相談、助言や身近な地域の育児や子育てに関する情報を提供する事業を委託する。	基本目標3 ③働きながら産み育てるための支援の充実を図る	岡崎保育園、なぎさ保育園、微笑保育園、しらゆりこども園、真愛保育園で実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>岡崎保育園：64件</li> <li>なぎさ保育園：293件</li> <li>微笑保育園：127件</li> <li>しらゆりこども園：259件</li> <li>真愛保育園：16件</li> </ul>							事業の継続	市に保育コンシェルジュを設置するより、園児個々の様子であったり、地域に密着した保育園で実施することの費用対効果も大きいいため、事業を継続する。	教育委員会	幼児教育課						
13	58	★	青少年教育の推進事業	写生大会、青少年の科学体験、親子体験教室、子どもフェスタ、ものづくり体験事業など青少年に体験型の学びの機会を提供し、青少年の教育を推進する。	基本目標3 ②子育て世帯への支援の充実を図る	子どもたちの実体験や親子、子ども間の交流を通して青少年の健全育成を図った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>青少年の科学体験事業：青少年に科学体験を通じて、ものづくりの楽しさ、創意工夫の大切さを学ぶ機会を提供：設置ブース16、参加者775人</li> <li>親子体験教室：自然と親しみながら親子のふれあいを深めるため、「浜名湖を知ろう」「森を知ろう」などを実施：実施回数7回、参加者1,072人</li> <li>子どもフェスタ：アメリティプラザのメインアリーナで、9種類のレクリエーション種目の実施を通して、地域・世代を超えた交流を深めた：参加者770人</li> <li>ものづくり体験：参加者501人</li> </ul>							事業の継続	今後も体験型事業の実施による親子、子ども同士の交流を通して子どもの創造性を育み、地元産業や地元の自然・環境を理解するなかで故郷を愛する心を養っていくため、事業を継続する。	教育委員会	社会教育課						
14	67	★	家庭教育サポート事業	二歳児の保護者を対象としたふたば学級、小学校1年生の保護者を対象とした家庭教育学級、幼稚園PTAを対象とした子育て講演会、小学校就学時子育て講座、中学生思春期子育て講座など、家庭教育の重要性を啓発するため、親が子育ての方法や姿勢を学ぶための講座を開催し、家庭教育力の向上を図る。	基本目標3 ③働きながら産み育てるための支援の充実を図る	幼児・小・中学校の保護者を対象とした講座等を開催することにより、家庭教育も重要性を学ぶ機会を提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>思春期子育て講座：市内中学校2校のPTAと共催し、思春期の子との接し方について、講座を実施：686人参加</li> <li>就学時子育て講座：小学校の入学説明会に合わせて、講座を開催：497人参加</li> <li>幼稚園子育て講演会：幼稚園公立幼稚園PTA研修会として、幼児期の食育について、講演を実施：112人参加</li> <li>ふたば学級：2歳児を持つ保護者を対象に、幼児期のしつけ、食育、親子ふれあい（手遊び・ゲーム・絵本の話）等の学習を実施：9学級180人参加</li> <li>子育て交流事業：地域ぐるみで子育てを支える体制を築くことを目的に子育て支援団体2団体に委託：157人参加</li> <li>家庭教育学級：小学校1年生を持つ保護者を対象に、家庭教育の重要性の学習を実施：6学級172人参加</li> <li>親子講座：就園前の親子を対象に「親子リズムは楽しいな!!」を開催：93人参加</li> </ul>							青少年の科学体験参加者数	実測値	730人	800人	775人	B	事業の継続	親が子育ての方法や姿勢を学ぶ機会を提供し、家庭教育力の向上を図る。子どもの健やかな成長を育み、今後の母親（女性）の活躍推進の一助とするため、事業を継続する。	教育委員会	社会教育課